

小中連携・一貫教育の推進

浦安市教育ビジョンでは、浦安の子どものための「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」をバランスよくはぐくむとともに、

人や社会と豊かにかかわる子ども、ふるさと浦安に誇りを持ち異文化を大切に育てる子どもの育成をめざしています。

その実現のためには、小学校と中学校の教職員が共通の思いを持って、連携しながら日々の教育活動に取り組んでいくことが重要です。

浦安市では、小学校と中学校の教職員が連携しながら、子どもの育ちや学びの連続性を重視した教育活動を展開する「小中連携・一貫教育」を推進しています。

浦安市における小中連携・一貫教育とは

浦安市における小中連携・一貫教育とは、「小学校6年間・中学校3年間」という現行の制度を維持しつつ、小学校と中学校の教職員の連携・協力のもとで家庭や地域と連携しながら、就学前から義務教育9年間を見通した教育活動を展開するもの」です。



小・中学校の教職員の連携

- 意見交換・情報交換
- 相互の授業参観 など

児童生徒の交流

- 学校行事での交流
- 部活動での交流 など

教科等の指導・生徒指導

- 9年間の系統性を明確にし、学びの連続性を重視した学習指導
- 継続的・系統的な生徒指導

中学校区の実態に応じた重点設定

例:豊かな心の育成(小・中学校で取り組む挨拶運動) 基礎学力の定着(小・中学校で取り組む家庭学習の習慣化) など



毎年、夏季休業中に幼・小・中の教職員が集まり、教科等の部会に分かれて情報交換を行っています。(堀江中学校区)

平成24年6月に実施した生活実態調査では、小学校6年生の6割以上が中学校の勉強に不安があると答えています。これは、中学校の教科担任制など学習形態の違いや、勉強の難易度に対する不安からくるものと考えられます。また、同調査では小学校6年生の3割以上が中学校の校則に不安を持っているという結果も得られました。

こうした現状を踏まえ、小・中学校の教職員は、それぞれの学習指導や生徒指導のあり方について相互に理解するとともに小学校、中学校というくくりではなく、義務教育9年間というくくりの中で一貫した教育を展開することが重要となります。

現在、浦安市では、各中学校区において小・中学校の教職員による情報交換会の開催や相互の授業参観、児童生徒の交流活動等、それぞれの実情に応じた小中連携・一貫教育を展開しています。

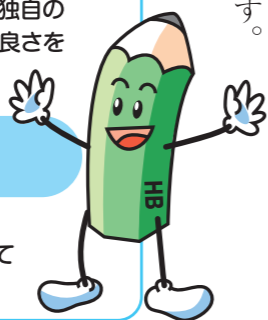
今後は、より連携を深め、学びの連続性を重視した学習指導や継続的・系統的な生徒指導を展開するなど、さらなる推進を図っていきます。

浦安市小中連携・一貫教育カリキュラム

子どもの成長過程においては、個人差はあるものの多くの子どもに共通してみられる発達段階ごとの特徴があります。浦安市教育委員会で、それぞれの発達の特徴を踏まえ、それぞれの段階に応じた学びを系

統的につなぐ「浦安市小中連携・一貫教育カリキュラム」の作成を進めています。

カリキュラムは、各教科や生徒指導、防災教育等について就学前から義務教育9年間を見通した視点でまとめ、4つのコンセプトに基づいて作成しています。



浦安市小中連携・一貫教育カリキュラム 4つのコンセプト

1 発達段階、学びの段階における「育てたい力」「指導のポイント」を明記します。

各学年の到達目標を明確にすることで、学習の基礎・基本の習得を図ります。

2 就学前から義務教育9年間の学習内容の系統性をわかりやすく示します。

学習の系統性を明確にすることで、「これまでの学習」と「これからの学習」を踏まえた授業の展開を図ります。

3 カリキュラムの中に「浦安らしさ」を盛り込みます。

- ・浦安独自の題材や教育資源を系統的に活用することで、義務教育9年間を見通した郷土愛の醸成を図ります。
- ・「浦安らしさ」を明確にすることにより、各中学校区独自の取り組みに加え、全市共通の取り組みによる浦安の良さを生かした小中連携・一貫教育を推進します。

4 各中学校区の特徴を加えて活用できるようにします。

各中学校区で設定した「小中連携・一貫教育の重点」と照らし合わせながら教育活動を行う際の参考として活用できます。

たとえば、コンセプト1にある、それぞれの学年で「育てたい力」や「指導のポイント」を明確にすることにより、教師は子どもの発達の特徴に基づいた学習のねらいや指導法をより明確にしながら、授業を行うことができるようになります。コンセプト2にある、「学習内容の系統性をわかりやすく示す」とは、各学年の学習内容が9年間を通してどのようなつながりがあるかを明確にすることを意味しています。このことにより、教師は子どもの学習のつまずきの原因が、過去のどの学習にあるのかを把握することができ、今、その子に必要な学習について指導するなど、支援がしやすくなります。また、今の学習が、今後どのような学習につながるのかを把握することで、今、学習しておくべきことをより明確にすることができるようになります。

カリキュラムは生徒指導においても作成しています。カリキュラムをもとに、小・中学校の教職員が相互の生徒指導について理解し、小学校から中学校への生徒指導を滑らかに接続させることで、子どもが安心して学校生活を送ることができるとともに、一人一人の個性の伸長や豊かな社会性をはぐくむことにつながります。「浦安市小中連携・一貫教育カリキュラム」は、平成25年度より各小・中学校での試行的な活用を通して、随時、振り返りを行い、修正を加えながら平成26年度より実施します。小中連携・一貫教育の推進により、就学前から義務教育9年間を連続した期間ととらえ、子どもの発達段階に応じた一貫性のある学習指導・生徒指導が実現します。浦安市では、就学前の保育・幼稚園から小・中学校までの教職員が連携を深め、共通の願いをもって、浦安つ子を豊かにはぐくんでいきます。